

報道関係者 各位

自動運転社会で必須の路車間連携における課題を、技術と法の両面から考えます。

## 自動運転車の事故の法的責任に関するシンポジウム 協調型自動運転～技術と法的課題～

を2023年3月31日(金)15時からウェビナー形式で開催します。

地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点(代表機関:国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学)は、自動運転の実用化・事業化において重要となるインフラ協調型自動運転における現状と将来的な課題について考えるシンポジウムを、2023年3月31日(金)15時より、オンラインにて開催します。

「地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点」では、運転する/しない/できないの別なく、人にも社会にも公平なアクセスができる超移動社会の実現を産学官民連携体制で目指しています。その手段のひとつである自動運転の実現にあたっては車両側技術の発展だけでなく、信号情報や交通規制情報といったインフラに関わる情報を車両側とやりとりするためのデータ連携技術が有用と言えます。ITS・自動運転に係る政府全体の戦略である「官民 ITS 構想・ロードマップ」においても、インフラ協調型自動運転システムのための技術開発やインフラ整備が重要施策となっています。一方で、交通ルールや取得データに含まれる個人情報の取扱い、事故時の責任といった法的課題の整理なども、自動運転の実現には不可欠です。本シンポジウムでは、官民で検討が進められている協調型自動運転の技術開発の現状や法的課題についてご紹介します。

※「地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点」とは、東海国立大学機構 名古屋大学が国立研究開発法人科学技術振興機構「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」の採択を受け、産官学民の共創の場として設立したものです。『みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」をかなえる超移動社会』の実現に向けて、工学、法学、心理学、芸術学等の学際領域でモビリティ研究を推進しています。

## 【本件のポイント】

- ✓ 警察庁 長官官房 参事官(高度道路交通政策担当) 池内久晃氏をお招きし、「協調型自動運転システムへの情報提供等のあり方に関する検討会」(警察庁)における議論状況について紹介いただきます。
- ✓ 自動運転サービス実現に向けたコンソーシアムにおいて、信号情報や車両情報を利用したデータ連携プラットフォーム開発におけるチームリーダーを務める東海国立大学機構 名古屋大学 教授の高田 広章が、現在の開発状況についてご報告します。その後、これを社会実装するにあたって生じる可能性がある法的課題について、東海国立大学機構 名古屋大学 客員准教授で弁護士の森田 岳人がご説明します。
- ✓ 最後に、技術、制度および法律上の将来的な課題について、講演者同士が議論します。

## 記

開催日時:2023年3月31日(金) 15:00~17:00(120分)

視聴方法:Zoom ウェビナー(参加費無料)

申込方法:下記の開催案内ページよりお申込みください

[https://www.gremo.mirai.nagoya-u.ac.jp/event/230331\\_coi-next.html](https://www.gremo.mirai.nagoya-u.ac.jp/event/230331_coi-next.html)

主催:地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点、東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所、中京大学 法務研究所

後援:松田綜合法律事務所



開催案内ページ

15:00 ●開会挨拶 森川 高行 東海国立大学機構 名古屋大学 教授、  
地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点 プロジェクトリーダー

●趣旨説明 岩月 泰頼 東海国立大学機構 名古屋大学 客員准教授/弁護士

15:10 ●講演

池内 久晃氏 警察庁 長官官房 参事官(高度道路交通政策担当)

高田 広章 東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所長、教授

森田 岳人 東海国立大学機構 名古屋大学 特任准教授/弁護士

16:40 ●クロストーク モデレーター:岩月 泰頼 東海国立大学機構 名古屋大学 客員准教授/弁護士  
上記講演者3名が登壇します。

16:55 ●閉会挨拶 中川 由賀 東海国立大学機構 名古屋大学 客員教授/中京大学 法学部 教授/弁護士

## 【問合せ先】

地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点(東海国立大学機構 名古屋大学)

Email: info-mymobi@mirai.nagoya-u.ac.jp (右QRコード)

